

ホ群常任便り

2020年5月15日

ホーリネスの群に属する諸教会の皆様へ

主の御名を賛美します。

年度がスタートして既に一ヶ月半が過ぎました。ホ群諸教会におかれましては新型コロナ・ウイルス感染対応のため多くの時間と祈りを捧げて来られたことと察します。感染の度合いには地域差があり、各個教会の対応も異なるかと思えます。緊急事態宣言解除後の対応が大切であることを覚え、ホ群としても長期的に適切な対応策を整え忍耐強く歩みを進めていく必要を感じています。危機こそチャンスであることを覚えつつ、それぞれの教会の歩みが今まで以上に祝されるために、情報交換や賜物の分かち合い等を積極的にしつつ、協働的にホーリネスの群教会形成に取り組んで行きたいと願っています。

昨日14日に安部首相より39県の緊急事態宣言解除の発表がありました。しかし、コロナ以前の生活に戻ることはできないことを受け止めざるを得ません。既にホ群各ブロックの夏期聖会やバイブル・キャンプ、6月の弾圧記念聖会を中止とする判断がされています。各ブロック教師会が祈りの中で苦渋の決断をされました。加えて各教区・地区の諸集会も中止されていることでしょう。この事態に対して私たちは何をすべきなのでしょうか。何もしないで待つのではなく、継続的な霊性祝福のために霊的書物を読んだり、オンライン聖会等を企画したりすることが求められます。

ご存知のように春のホ群年会が、秋のホ群信徒教師共同セミナー時に延期されました。ウイルス感染の第二波がいつ来るかによっては、秋でも開けない場合もあるかも知れません。どのような状態であれば、開催可能かどうか等についてあらかじめ基準を決めておきたいと願っています。

6月10日(水)の第1回ホ群委員会は、時間短縮して行う予定にしています。半数の委員は、オンラインで参加することになるかと思えます。予測困難な状況下ですが、冷静に判断しつつ協働牧会伝道によるホ群形成を進めて行きたいと願っています。新型コロナ問題と向きあいつつ、主にあって確かな足取りで歩むため、まず現状を把握したいと導かれています。このために別紙の様なアンケートを用意しました。お忙しいことと思えますが、5月末までにご回答いただけますと幸いです。

最後になりましたが貴教会の上に、主の祝福が豊かに注がれますように。 主にありて

ホーリネスの群 委員長 横山基生

追伸

韓国の異端カルト団体である「救援隊（クオンパ）」に関わる注意喚起をさせていただきます。貴教会に、この団体から封書又はメールで、オンライン聖書セミナーについてのご案内が届いていないでしょうか。この団体は、クリスチャンを目標に近寄って自分たちの組織に入らないと救われないと勧めてきます。新型コロナ・ウイルス感染拡大からオンラインでの様々な活動が増える中、何も知らずに信徒たちが聖書セミナーだからやってみよう誘われて異端グループに引き抜かれないように注意していただきたいと存じます。

新型コロナウイルス感染の教会への影響及び今後の展望に対するアンケート

1. 新型コロナウイルス感染拡大による貴教会活動への影響。聖日礼拝・祈祷会・教会学校・聖餐式役員会・教会総会・献金・愛餐会等の現状について記して下さい。
2. 礼拝や祈祷会を自粛している中で、どのような牧会的活動をしていますか？
3. 貴教会員の中に、新型コロナの影響を、具体的に受けている方はいますか。教会としてどのような支援をしていますか？
4. 礼拝・祈祷会の自粛で教会経済の状況はいかがですか？
5. 緊急事態宣言が解除された後、新しい生活様式をどのように教会活動に当てはめますか？
6. 貴教会のオンラインでの礼拝発信やその他の活動の状況はいかがですか？不足している物、事は何ですか？
7. ホ群への要望を自由に書いて下さい。
例：新型コロナ対応の指針、経済支援、オンライン機器導入指導

教会

氏名